

<小学校国語科における活用のポイント>

- ・「情報の扱い方に関する事項」において、挿絵や図を効果的に扱う。
- ・動画を活用し、一過性のものを確認する。
- ・学習支援アプリのノート機能を使い、文の修正をする。
- ・紙媒体の方が読み取りやすいというデータもでているので（特に低学年）、目的に合わせて使う。

事例1 挿絵や写真を並べ替え、内容の大体を捉える 第1学年・第2学年 領域「読むこと」

使う機能：配付、並び替え 書き込み 共有

- ①教師が、教科書の挿絵または写真をランダムに並び替えたワークシートを児童の端末に配付する。
- ②児童が、端末上の写真を移動させ。本文の時間的な順序や事柄の順序、場面の様子に沿って並び替える。
- ③タブレット入力ができる学年の児童は、どの文に着目して並び方えたかを、ワークシートに記入する。
- ④並び替えたものを共有し、基となる文を話し合い、情報と叙述をつなげて考える。

効果的ポイント

児童一人一人が自分の端末で並び替えることで、内容の大体をつかむことができる。また叙述と情報（挿絵・情報）をつなげる意識をもつことができる。

事例2 インタビューを動画で撮影し、確認する 第4学年 「聞き取りメモの工夫」

使う機能：動画

- ①インタビューをしている様子を撮影する。
- ②自分のメモした内容と撮影したインタビューを比べる。
- ③班の中で確認し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉えることができたかを確認する。
- ④メモをするときの工夫についてまとめる。

★各家庭で撮影した動画をもとに、学校でインタビュー内容を確認しながら、メモをする時の工夫について考えることができる。

効果的ポイント

「聞くこと」は再現することができないものだが、動画で撮影することで、児童は繰り返し見ることが可能になり、聞き取りメモの工夫について考えやすくなる。

事例3 文章の推敲をする 第6学年 「文の組み立て」

使う機能：ワークシート 写真 書き込み 学習支援アプリ

- ①「文の組み立て」の学習の後に自分の書いた文章の推敲を行う。
- ②自分の書いた文章を写真で撮影する。
- ③学習支援アプリのノート機能を使い、画面右手に写真を、左手にワークシートを配置し、文章を書き直す。
- ④キーボード入力、ペン入力は個々に合わせたものを使う。

効果的ポイント

タブレット端末を使うことで、文章の修正（削除、移動、コピー等）がしやすくなり、よりよい文章にしようという意欲が継続される。